

**第6回車座トーク（9月2日 出雲市）でいただいたご意見に
対する県の対応 テーマ「島根ならではの“おもてなし”に大切なものは」**

1. 来年度に新たに実施または拡充するもの

いただいたご意見	対応状況
※ なし	

2. 実施に向けて検討しているもの

いただいたご意見	対応状況
※ なし	

3. 既に実施しているもの

いただいたご意見	対応状況
U I ターンを増やすためには、地元に残った人ではなく、I ターンで外から来た人や、島根から出て行った人の意見を聴くことが必要。	U I ターンフェアで移住を希望される方のご意見を伺っているほか、U I ターンされた方からご意見をお聞きする機会を設けています。 今後も、U I ターンされた方やU I ターン希望者、都市部の島根県出身者のコミュニティなどのご意見をお聞きする機会の確保に努め、ニーズを把握し施策に反映してまいります。
使用している原材料の産地など定義づけが厳格であるほどブランドとしての価値は高まる。「これは間違いなくメイドイン島根」というものを作って、農家や漁師に残ってもらえるように、明確な定義づけをしてほしい。	地域の食文化に根ざし、原料や技術にこだわりをもってつくられた商品を「しまねふるさと認証食品(Eマーク)」として認証しており、引き続き、商品価値の向上や消費者などへのアピールを支援してまいります。 その他、次に掲げる認証制度なども活用して、ブランド価値の向上を支援してまいります。 ・地理的表示(G I)保護制度 ・地域団体商標 ・地域食品ブランド表示基準制度「本場の本物」
美肌というと濃いシェア層なので、温泉のない観光地もたくさんある中で温泉だけに特化するより、「心潤う島根県」をテーマにしてはどうか。	気象条件などから、潤いのある環境であるという島根ならではの強みを活かし、幅広い年齢層の女性をターゲットに、「美肌」をテーマに温泉と食を軸とした「美肌観光」を推進しており、今後も引き続き取り組んでまいります。

4. 今後の取組を検討するうえで参考とさせていただきご意見

- ・島根大学の学生 4000 人の7割が県外からだが、交通手段がないため、4年間観光地を知らないまま地元に戻る。島根の魅力を知ってもらおうと将来のリピーターになるので、観光地に学生を呼び込む仕組みが作れたらいい。

5. 現時点では取り入れることが難しいご意見

- ※ なし